

美川まちづくりセンターの新たな取組

事業名

地域の買い物支援事業『美川まちづくり楽市』

P

事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果

美川地域の商店空白地帯の解消、公共交通の減便や廃止に加え、運転免許証の返納に伴い、買い物弱者の生活援助の一助となるよう、新鮮、安全、廉価をモットーに朝市を開き、併せて地域生産者と消費者の交流、地域活性化を目指す。

買い物の不便、苦勞がしいては食品摂取量の減少、孤食につながり、健康面でも心配。新鮮な食材が安く手に入り、朝市に来る事で会話が生まれ、コミュニケーションの場となる。自分で買い物する事で脳の活性化につながる。生産者は野菜作りや売る方法を考える等意欲が高まり、地域の為にどうしたら良いかを自発的に考える機会に繋がる。

D

事業の概要

◇令和3年8月7日よりスタート・毎月第1, 第3土曜日 朝8時から9時まで

◇美川まちづくりセンター前 雨天時：センターロビー内

◇美川まちづくり楽市実行委員会(代表、実行委員長、事務局長他40代～80代まで計14名)

◇地域の方が育てた野菜、果物、加工品、手作り品、花、干魚などを販売。

事業の実施において工夫した点、成果、課題、改善点等

◇季節に応じた野菜、果物を安価に提供する事で購入しやすい。

◇生産者の意欲向上、自発的思考。◇高齢者の健康増進。◇毎月チラシを発行。朝市の旗を前日に立てる事で地域へお知らせ。 課題：◇施設面、天候に左右される。

C

課題の解決度合（10段階の自己評価）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

								○		
--	--	--	--	--	--	--	--	---	--	--

上記評価の理由

◇生産者が意欲的に取り組んでいる。

◇地域の方、利用される方に大変好評である事が何より。

A

事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと（評価を10に近づけるために）

- ・地域へさらなるアピール
- ・他地域の朝市を視察
- ・品物の検討(消費者のニーズを把握)
- ・節目にイベントを行う。
- ・利用者、高齢者の憩いの場を作る。
- ・雨天時等安心して運営できる環境整備

